



生物多様性条約第10回締約国会議 サイドイベント名古屋

持続発展教育(ESD)とユネスコ人間と生物圏(MAB)計画における我が国の取組に関するシンポジウム



2010年10月26日(火)13:15-14:45, 名古屋国際会議場4号館1階

主催: 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会

共催(予定): 日本MAB計画委員会、「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議(ESD-J)、国連大学高等研究所、環境省。

後援(予定): 林野庁、日本生態学会、横浜国立大学

軽食と飲物、ユネスコ・ジャカルタ事務所が提供したMABのDVD(日英版)を差し上げます

プログラム

- 開会挨拶 藤嶋信夫(文部科学省)
- 基調講演(1) 鈴木克徳(金沢大学) 「MABプログラムを活用したESDの推進」
- 基調講演(2) アナ・パーシック(ユネスコMAB事務局) 「生物圏保存地域-持続的発展を学ぶ場の世界的ネットワーク」
- パネル討論「日本のMAB、ESDの相互連携と発展の展望」
司会 松田裕之(日本MAB計画委員会)
パネリスト アナ・パーシック、鈴木克徳
洪善基(韓国・木浦大)、高野孝子(エコプラス)
- 閉会挨拶 鈴木邦雄(横浜国大/日本ユネスコ国内委員会)

参加費: 無料(参加するにはCOP10事前登録が必要です)、同時通訳(日英)
この行事は文部科学省ユネスコパートナーシップ事業の支援を受けています
詳しくは<http://risk.kan.ynu.ac.jp/gcoe/MAB.html>

